

## 令和4年度 事業計画

### I 基本方針

我が国の景気は、持ち直しの動きが一服しているとみている。個人消費は、感染症再拡大や天候不順等の影響から、飲食・宿泊などの対面型サービス消費において厳しさが増しているほか、衣料品や家電製品の販売も低調となるなど、全体として弱く含んでいる、製造業の生産は、部品調達難の影響から電気機械が伸び悩むなど、全体でも横ばい圏内の動きとなっている。他方で、設備投資は、企業収益の改善等持ち直している。

先行きについては、当面、感染症の影響に関して不確実性が高い状況の下で、感染防止と経済再生の両立を図っていくことが重要となる。さらに、より中期的に持続可能な経済発展を実現していく上では、コロナ禍を経た企業・家計の行動変化に的確に対応し、人口減少や少子高齢化による需要減少、人手不足、後継者難といった課題にも取り組んでいくことが求められる。

例えば、コロナ禍を契機に、グローバルな需要をオンラインにより取り組む動きが広がってきている。コロナを脱した後のインバウンド需要を睨んで、観光情報の発信にも取り組んでいる。テレワークの進展とともに全国的のワーケーションやシェアオフィスなどの新しい働き方が注目されている。

更に、全国的に副業を認める企業が増えてきている中で、行政がいち早く副業に着目して県外居住者と県内企業とのマッチングを支援し地域の課題である専門人材の確保に取り組んでいる。不確実性に満ちた脱コロナ禍の時代を生き抜くうえでは、柔軟かつ迅速な対応が重要となる。（日本経済日銀政策委員会）

さて、このコロナ禍においても万全な対策のもと、ボランティア活動や、地域行事への参加など、様々な活動により「地域との共生」を進めて行くことがセンターの事業運営にとって大事であります。

一昨年来の新型コロナウイルス感染症の猛威は、本来、今後10年単位で進んでいたであろう世の中の構造変化を一挙にもたらし様々な課題を突きつけられた感じがいたします。

この中で、センター一体での構造改革を図るとともに、一方で、需要回復に向けた整備等コロナ禍による行動変容に対応したライフスタイルの提案など、新たな価値行動も進めて行くことが肝要であります。

中長期的な需要創出の機会を逃すことなく成長戦略を展開するにあたり、先んじて財政基盤確立に努めます。他方では、ワクチン接種が進み新型コロナウイルスに対する治療薬の開発も報じられるなど、収束に向けた動きは着実に進んでいると感じています。今後本格化する需要回復の中で、一層サービスの提供を全力で取り組み、お客様のご期待に最大限お応えをしなくてはなりません。

そしてこれから「人々が出会い、笑顔が生まれる、安心・安全で豊かな社会」という「めざす未来」の実現を目指して参ります。

他方、シルバー人材センターを取り巻く環境は、65歳までの雇用確保義務に加え、70歳までの就業確保の努力義務が法整備されるなど、今後ますます新規入会者が高齢化するとともに、同時に会員の高齢化も進んでいくものと思われまますが、反面元気なお年寄りが多くなっているのも事実で、少子高齢化が急速に進展した超高齢化社会にあって、人手不足分野や現役世代を支える分野での労働力確保にシルバー人材センターが果たす役割や期待は、今後ますます重要視されると思われまします。当センターとしましても、今後とも会員・役職員が一丸となって、「会員の拡大」と「就業の拡大」の両輪で取組んで参ります。

その中で、特に会員拡大について当センターは、令和6年度末までに670名の目標を掲げる中、コロナ禍の影響により会員数が下げ止まらない状況にあることから、第一段階として当面コロナ前の会員数に届くよう取り組むべきと思ひます。引き続き女性をターゲットにして、女性会員の拡大を推進するうえで、女性の感性にアピールする広報紙や女性に人気のある就業先の開拓など女性でなくてはの視点が必要不可欠であります。併せて、女性にとってより一層魅力的なセンターとなるよう環境を整備しなくてはならないと思ひます。

更には、地域に貢献し、一般市民に信頼と共感が得られるようシルバー人材センターを目指して全力で取組んで参ります。また、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、高齢者の安全就業を確保し、国が定めた適正就業ガイドラインを遵守しなければなりません。

そのような中、地域社会の発展を就業意欲のある高齢者の受け皿としての役割を果たしてきましたが更に令和4年度は、これらの取組みを推進・継続するとともに次に掲げる計画を着実に実行します。

本年度は次の目標掲げて参りますので、会員をはじめ役職員の皆様にお力添いをお願いいたします。

- I 年間のお仕事説明会の回数を増やし、公民館等で出張説明会を開催します。
- I 会員の拡大（目標達成）に向けて、昨年同様会員役職員三位一体により、目標達成にアクションを起こします。
- I 市民の皆様「愛され・信頼と共感・魅力ある」センターを目指します。
- I 安全適正就業について、
  - (1) 安全就業に於いては、安全就業基本計画に沿った取組みを緻密に実行し「安全は全てに優先する」を合言葉に「傷害・物損事故ゼロ」を目指します。
  - (2) 適正就業に於いては、コンプライアンスを遵守いたします。

## II 事業計画

### 1. 組織の充実と事業活動

#### (1) 事業目標

請負・委任事業、一般労働者派遣事業を主力に、新たな独自事業に取り組みます。昨年度実績は、新型感染コロナウイルスの影響により請負・委任事業は大幅に落ち込みました。今年度は、徐々にではあるが新型感染コロナウイルスは収束に向かうことと推測しております。実績に於いても平衡しながら回復に向かうと予測します。目標達成に向けて新たな就業開拓・リピーターへの懇懇を図ります。

#### (2) 組織・財政の充実強化

ア 会員の増強値（派遣事業を含む）

目標数

会員数（人）	粗入会率（％）	就業延人日（人）	契約金額（請負・派遣） （千円）
600	2,79	43,122	190,000

### 2. 会員の拡大と組織・財政の充実強化

#### (1) 会員の拡大

・会員の拡大は、喫緊の課題であり組織を挙げて取組んで参ります。全国シルバー人材センター事業協会は、令和6年度末までに「第2次会員100万人達成計画」により取組中である。当センターは、令和6年度末までに670名、今年度末までに600名の目標を定めております。他センターの情報提供を得ながら享受し目標達成に取り組んで参ります。

就中、当センターに於いては、昨年度はかなりの退会者があり又入会者も少なく目標達成には大きく乖離した結果に終わりました。今年度も、会員・役職員三位一体によりあらゆる機会を捉えて、目標達成に向けて取組んで参ります。先ず令和3年度会員拡大の取り組みをした結果に基づき、分析・検証（原因究明）し令和4年度は、下記の要項で取り組みます。

ア ホームページを開設し有効活用に努める。（スピーディーな情報提供の確立・事務の簡素化）

イ 会員一人一会員入会活動（会員から口コミで仲間を増やす、入会促進）。

ウ シルバー派遣事業の拡大による新規会員の確保。

エ 独自事業の実施による新たな就業機会の確保。

オ 新総合事業および福祉・家事援助サービス事業等への女性会員の確保。

カ 重点的に女性会員の拡大に努め多様な就業ニーズに対応した就業先開拓を推進する。

## (2)組織・財政の充実強化

### ア 事務局・役員

・公益法人であるため、公益性の高いものが求められておりますので、事務も年々複雑化になっております。克服するため事務局職員にキャリアアップが重要視いたします。コロナ禍ですのでオンラインにより研修・セミナー等を通じて更に知識・能力の向上に努めます。役員の方も、課題が山積する中、課題解決に向けて一層意見を具申して頂き共に解決を見出します。

### イ 地域班・職群班の充実

・地域班に根差した活動は、その地域に応じたなくてはならない大事な活動の一環です。ひいては地域班の活動がシルバー人材センターの根幹をなすものであります。よって地域班の活性化こそがセンター事業運営に反映して参ります。従って、今後どのようにすれば活性化に繋がるか地域の役員、会員そして事務局が一体となって知恵を出し合い英知を結集して、班の活性化に取り組みます。

### ウ 財政の健全化

・財政的にも、補助金の頭打ちにより事業運営にも少なからず影響が及んでおります。行政当局へ新しい事業展開をお示し、補助金増額について強力的に要望いたします。また自助努力により派遣事業の拡大に向けて取組むと共に事務局内に於いては、能率的に業務分担の見直し等的確に行い、経費節減により自主財源の確保に努めます。また会計事故の未然防止に努め内部牽制体制を明確にし、適正な会計処理と財政面（決算）に於いては収支相称に努めます。

### エ 研修計画

・発注者の皆様から、愛され信頼・共感を得るセンターを構築する為に、会員の資質の向上と永年培ってこられた経験を基に、技能・技術のスキルアップが必要不可欠であります。今年度も更に目的に沿った研修・講習を実施するにあたり会員の参加しやすい環境を整えます。職員に於いては、どのような研修が最も効果的か模索し機会を捉えながら研修・セミナーを積極的に受講し、職員のモチベーションに繋がります。

### オ 啓発事業の推進

・シルバー人材センターの目的、社会へ果たす役割等々市民の皆様にご理解を頂かなければシルバー人材センターそのものの意義が問われます。従って、シルバー人材センター事業の意義を社会に広く周知す

るとともに、高齢者の加入を促進するために普及啓発促進月間（10月）シルバーの日を中心に各種ボランティア活動の実施、マスメディア等通じ自治体の広報誌、新聞、センターの機関紙等に提供し積極的な広報活動を展開します。併せて、自治体や各種団体などが開催するイベントに積極的に参加し、リーフレット、パンフレット等配布して広報活動に努めます。

#### カ 社会参加活動の推進

・公益目的事業の観点から、シルバー人材センターにとりましてボランティア活動は必須の条件であり、年1回以上 会員、役職員全体で取り組むボランティアを実施し、又各班（20班）単位でそれぞれ地域に沿ったボランティア活動の取り組みを行い、高齢者の社会参加への機会を一層充実した形で提供いたします。コロナ禍の中、十分に感染症防止対策を設け実施いたします。

### 3、就業機会の開拓と安全就業

#### (1) 就業機会の開拓

ア デジタル社会の中、スマホ教室の開催により会員へスマホを活用した業務連絡等又デジタル技術を活用して業務の効率化を図る。

イ 就業開拓は、会員、役職員三位一体により適時効果的なものから取り組みます。

ウ 役職員により、企業訪問を実施し、特に普段から繋がりのある企業を重点的にパンフレット等持参により就業開拓に努めます。（ギブアンドテイクの推進）

エ 会員、職員により、大型スーパー店出入口付近に於いて買い物をされるお客様へ会員募集、お仕事承ります等チラシの配布をいたします。

#### (2) 独自事業の開拓

請負・委任事業は、新型コロナウイルス感染症により昨年度同様実績が平年より大幅に落ち込むことが予想されます。従って当センターは、立地条件の良いシルバーサロン・アンテナショップを運営（営業）しておりますので有効に活用します。

更に一般市民への周知を図り、独自事業としての販売拡大に取り組んで参ります。一昨年度から、試行錯誤し新たに薪・木炭の販売を実施しました。今年度は四季を通じて花の栽培、販売等計画を練っております。

### (3) 安全・適正就業の推進

ア 安全就業については、「安全・安心なシルバー事業」の確立を図る観点からシルバー人材センター事業遂行の基幹をなすものであり、組織を挙げて安全に取り組み一層の推進を図り、傷害事故・物損事故の撲滅を図ることが肝要であります。このため、「安全ニュース」・「ヒヤリハット」「安全標語・作文」などを活用し、また事故事例集等を「他山の石」ではなく「自山の石」として捉え認識し「安全意識の高揚」と「安全の徹底」を図るとともに安全対策を講じます。

さらに、シルバー派遣に於ける安全対策については、毎月の衛生委員会等における活動を通じてより一層の安全対策の確保に努めます。

イ 適正就業については、適正就業ガイドラインを下に会員の働き方に係る重要な指針であるので、公益法人として法令遵守の立場から不適正な請負契約に於ける就業の根絶に努めます。特に透明性を基軸としグレー就業として疑念を生じないよう適正就業へ正します。

### (4) 相談・情報提供

ア 入会を希望される高齢者を対象に、昨年度同様 毎月 2 回以上お仕事説明会を実施します。市内一円 20 ある公民館の一部をお借りしてお仕事説明会を実施いたします。それ以外に於いても即ご入会の希望者へは、随時お仕事説明会を実施し入会して頂きます。また高齢者からの相談を承るときは、相談窓口に於いて広報活動等の提供をいたします。

イ 会員募集・お仕事承ります(パンフレット)等を公の施設に載置します。併せて、シルバー人材センターの機関紙等に掲載しアピールします。

ウ シルバー生き生きサロン（仮称）の掲示板を有効活用します。

## 4、事業の趣旨

- (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供を行います。
- (2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供を行います。
- (3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習を行う。
- (4) 上記の事業を推進するための諸活動、及びその他の社会参加活動を推進するための活動を行います。